

障害者スポーツセンターの在り方に係る主な論点（案）

<ビジョン・目標>

- 障害者スポーツセンターの活動を通じて、障害の有無に関わらず、誰もがどこでもスポーツを楽しめる環境とはどのようなものか。また、そうした環境を、いつまでに、どのように整備していくか等、目標はどうあるべきか。

<障害者スポーツセンターの役割>

- 障害者スポーツセンターは、障害の有無に関わらず「ともにするスポーツ」の推進にどのような役割を果たすのか。
- 障害者スポーツセンターは、地域における障害者スポーツの推進のため、地域において障害者スポーツの関係者等をつなぐハブとして、どのような関係者と連携し、その中で具体的にどういう役割を果たすべきか。また、サテライトとなる施設や関係者は、それぞれどのような役割を担うことが考えられるか。
- 障害者スポーツセンターは、リハビリテーションを中心とした役割や障害者スポーツの普及の役割だけでなく、アスリートの発掘育成等競技力向上に資する役割も含め、幅広い役割を持つべきではないか。

<障害者スポーツセンターにあるべき機能>

- 障害者スポーツセンターには、
 - ・ 地域における障害の有無に関わらずともにするスポーツ機会の創出
 - ・ 地域における障害の有無に関わらずともにするスポーツ活動の実施に係る技術的指導
 - ・ 障害者へのスポーツ指導（特に子ども、初心者、重度障害者など、アクセスが困難な者中心に）
 - ・ 指導を踏まえた医事相談
 - ・ 障害者スポーツ普及のための出張教室等（施設に限らず様々な場所で実施できるものを含む。）
 - ・ 地域における障害者スポーツ活動のコーディネート
 - ・ 専門的知見を活かした、スポーツ無関心層のニーズの掘り起こし、啓発・普及活動
 - ・ 地域における障害者スポーツの大会の実施や支援
 - ・ 障害者スポーツに関わる団体や関係機関とのネットワークの形成（スポーツのみならず、医療、福祉、教育などの各分野を含む）
 - ・ 域内各地域の社会体育施設やスポーツ施設に対する障害者スポーツに係るノウハウや情報の提供、助言、コンサルテーション

- ・ 域内各地域の社会体育施設やスポーツ施設が行う障害者スポーツ活動実施に対する支援
 - ・ 障害者スポーツ指導に取り組む地域のスポーツ指導者や障害者施設関係者に対する技術指導
 - ・ 地域の障害者スポーツ団体（PF や都道府県障害者スポーツ協会等）に対する支援
 - ・ 蓄積された障害者スポーツに関する情報やノウハウの発信
 - ・ 活動場所やコミュニティ情報の収集、発信
 - ・ 指導者に係る情報及びマッチング
 - ・ ボランティアの情報集約、募集、派遣
 - ・ 用具等の貸し出し、保管
 - ・ 用具・装具のフィッティング、調整、修理、補助具の開発
 - ・ 地域における障害者スポーツ指導者等の養成（学校の教員や理学療法士等が障害者スポーツの知識等を身につけるための講習等）
 - ・ 障害者スポーツを支えるサポーターやボランティアの育成
 - ・ 体育館や会議室、一部拠点等の貸し出し（貸館としての機能）
 - ・ 視覚障害、聴覚障害を有する利用者のための情報保障
 - ・ 各種事業や助成金などに関する相談機能
- 等の他にどのような機能があるべきか。

<必要な人材>

- 障害者スポーツセンターには、ボランティアではない常勤の指導者、地域においてコーディネートの役割を担う人材の他、どのような人材が必要か。
- 必要な人材を確保するために、障害者スポーツセンターはどのような取組をすべきか。

<必要な設備等>

- 障害者スポーツセンターの役割や必要な機能を考えた場合、トレーニング室、体育館、プール等、どのようなスポーツ施設があるべきか。
- 障害のある方が安全・安心に過ごすために、障害者スポーツセンターには、バリアフリー化された施設、身体障害者等のためのトイレ等、どのような設備等が必要か。
- 車いすを利用する方等、移動に課題を持つ方が障害者スポーツセンターに通うためには、どのような移動手段が考えられ、どのような対応が考えられるか。